



三陸ジオパークとは？

青森県八戸市から宮城県気仙沼市までの3県16市町村にわたる日本最大のジオパークです。
約5億年前からの地球活動の歴史を実際に見ることができ、東日本大震災津波をはじめ三陸地域で繰り返されてきた震災の記憶を後世に伝える学習フィールドとして日本ジオパークの認定を受けました。



関連イベント

6月7日(金)・8日(土)

2019年度 三陸ジオパークフォーラム&エクスカーションツアー

開催日時	エクスカーションツアー 6月7日(金) ※要申し込み / フォーラム 6月8日(土)
メイン会場	岩泉町民会館(〒027-0501 岩手県下閉伊郡岩泉町岩泉松橋21)
開催内容	ジオパークに関する基調講演、伝統芸能の披露、アンモナイトレプリカ制作教室、VRジオパーク体験、「炭鉱ホルモン鍋」等の露店販売・物販、鉄神ガンライザーによるステージイベントなど ※上記スケジュール・イベント内容は変更となる可能性があります。

8月3日(土)・4日(日)

親子釣りフェスタ&ジオツアー

定員	各日10組20名様 ※要申し込み(申し込み多数の場合は抽選とさせていただきます)
メイン会場	宮古市・シートピアなど(出崎埠頭)ほか
開催内容	親子釣りフェスタ、三陸ジオパーク関連施設見学(岩手県立水産科学館・崎山貝塚縄文の森ミュージアム)、みやこ浄土ヶ浜遊覧船乗船など ※上記スケジュール・イベント内容は変更となる可能性があります。

お問合せ

三陸防災復興プロジェクト2019実行委員会
事務局：岩手県政策地域部三陸防災復興プロジェクト 2019 推進室
〒020-0023 岩手県盛岡市内丸11-1 TEL 019-629-6222 FAX 019-629-6229



三陸防災復興プロジェクト 2019の
最新情報はこちら

三陸防災復興プロジェクト 2019

<https://sanriku2019.jp/>

検索



三陸防災復興プロジェクト 2019

—— 岩手の海とジオの魅力展 ——

ジオと すこす 休日。

三陸の大自然に会いにいこう！

癒され、感動し、学ぶ。

「岩手の海とジオの魅力展」で
三陸の大自然に会いにいこう！

私たちが住む地球、岩手の自然環境……

近くにあるものだけど、そこには知らないことがたくさん。

それを貴重な資料や海の生き物たちが、
「文字のない教科書」となって私たちに教えてくれます。

時間がある休日をつかって

「大自然の壮大なひみつ」に会いにいこう、

これまでとひと味ちがうすごし方をするのはいかがですか？

ご家族と、恋人と、もちろんお一人でも。

三陸が生んだ大自然をまるごと楽しむことができるのが、
南北約220kmにも及ぶ「三陸ジオパーク」。この夏、ジオパーク内の県内8施設が7会場で
「岩手の海とジオの魅力展」を開催します。

海の生き物たちに癒されたり、初めて知ることに関心したり、

これから海と仲良く暮らしていくために学んだり……

さまざまな視点から岩手の海とジオの魅力をを感じる

企画展をご紹介します。

三陸をよく訪れる人もそうでない人も、

これまで知っていた三陸の海の

「一歩先」を楽しむ夏をお過ごしください！

陸前高田市立博物館
※本展の開催場所は
大船渡市立博物館です

洋野町

もぐらんぴあ

久慈市

野田村

普代村

田野畑村

岩泉町

小本津波防災センター

崎山貝塚
縄文の森ミュージアム

宮古市

岩手県立水産科学館

山田町

大槌町

山田町立
鯨と海の科学館

釜石市

釜石市郷土資料館

住田町

陸前高田市

大船渡市

大船渡市立博物館

三陸の海はクラゲいっぱい展

久慈地下水族科学館

もぐらんぴあ

→p4

大地を掘ると、海の恵みがみえてくる

崎山貝塚縄文の森ミュージアム

→p4

第32回 磯の生物展

岩手県立水産科学館

→p5

クジラのすみ海ー浅い海から深い海までー

山田町立鯨と海の科学館

→p5

おらほの話っこ聞いてだけだんせ

釜石市郷土資料館

→p6

陸前高田市立博物館との協働展示

気仙と津波～大船渡・陸前高田～

大船渡市立博物館

→p7

三陸防災復興プロジェクト2019

三陸ジオパーク ワクワクフェスタ

国立科学博物館・岩手県立博物館・コラボミュージアム

生命のれきし

ー君につながるものごたりー

→p7

6月

6月25日(火) ▶ 8月31日(土)

お絵描きアクアリウム in 三陸

7月9日(火) ▶ 8月7日(水)

お絵描きアクアリウム
in 三陸も同時開催！

自分で描いたおさかなや海のいきものが大画面の水槽を泳いじゃう！
こどもたちの想像力とデジタル技術の融合をお楽しみください！

7月13日(土) ▶ 9月29日(日)

7月12日(金) ▶ 8月18日(日)

6月1日(土) ▶ 8月7日(水)

お絵描きアクアリウム in 三陸
7月9日(火) ▶ 8月7日(水)

6月8日(土).22日(土)

7月6日(土).20日(土) / 8月3日(土)

6月15日(土) ▶ 8月18日(日)

6月2日(日) ▶ 16日(日)

小本津波防災センター【岩泉町】

6月22日(土) ▶ 7月15日(月・祝)

大船渡市立博物館【大船渡市】



三陸防災復興プロジェクト 2019

6月1日(土) ▶ 8月7日(水)

ジオが生んだ 海のアイドルに 癒される。

6月25日(火) ▶ 8月31日(土)

久慈地下水族科学館
もぐらんぴあ【久慈市】

企画展「三陸の海はクラゲいっぱい展」

ゆらゆらと水の中ですごす、かわいいクラゲたち。彼らはこの三陸の海にもたくさん! この夏のもぐらんぴあでは、久慈地方で発見・採集された全31種類のクラゲたちが紹介されます(一部写真での紹介を含みます)。光と音楽でドレスアップした美しいクラゲたちに、心から癒されるひとときを過ごしてみては?

住 岩手県久慈市侍浜町麦生1-43-7 交 JR陸中夏井
駅から車で6分 料 一般700円/高・学生500円/
小・中300円 営 9:00~18:00(最終入館17:30) 休 月
曜(祝日の場合翌日) 駐 約80台 問 0194-75-3551



心ふるえる、 縄文ロマンの旅。

7月13日(土) ▶ 9月29日(日)

崎山貝塚縄文の森ミュージアム【宮古市】

企画展「大地を掘ると、海の恵みがみえてくる」

縄文人の暮らしや、縄文人が感じていたこと。貝塚がそれを教えてくれます。道具に感謝したり、人と交流したり... 2000年以上の時間が過ぎても、今の私たちと変わらない「人間らしさ」に感動! 今回のテーマは「海」。釣り漁など「三陸だから、分かること」を通して、古の時代にタイムスリップ!

住 岩手県宮古市崎山第1地割16番地1 交 JR
宮古駅から車で13分/岩手県北バス「崎山貝
塚前」から徒歩5分 料 一般200円/学生150
円/高校生以下無料 ※団体割引あり 営 9:00
~17:00(最終入館16:30) 休 月曜(祝日の場合
翌平日)/月末平日(休館日の場合は前平日)
駐 40台 問 0193-65-7526



ショーケースに「海の幸」!? 海と人の関わりの展示会。

7月12日(金) ▶ 8月18日(日)

岩手県立水産科学館【宮古市】

企画展「第32回 磯の生物展」

水産科学館の夏の風物詩、「磯の生物展」。生きた魚介類に直接触る「タッチプール」を始め、毎年好評のイベントが今年も開催! 今年は、海が古くから食料供給源だったことをふまえ、水産加工品や季節の海の幸の展示も。海と暮らしてきた宮古だから伝えられる「海と人の関わり」に注目した展示です。



住 岩手県宮古市日立浜町32番地28 交 JR宮古駅から車で10分/岩
手県北バス「浄土ヶ浜ビジターセンター前」から徒歩5分 料 一般300円
/学生140円/高校生以下無料 営 9:00~16:30(最終入館16:00)
休 月曜(祝日の場合翌平日) 駐 20台 問 0193-63-5353



海の神秘を、 クジラたちに 聞いてみて。

6月1日(土) ▶ 8月7日(水)

山田町立鯨と海の科学館【山田町】

企画展「クジラのすむ海ー浅い海から深い海までー」

クジラは知っているけれど、その生態は知らないことばかり。「どうして潮を吹くのか?」「実はカバだったって本当?」、その秘密に迫るのは、まるで海の神秘の物語を聞いているよう。素晴らしい三陸の海と、海を育む豊かな自然。そこに生息する生き物たちと私たちが仲良くすごす大切さを、クジラに教えてもらおうのはいかが?

住 岩手県下閉伊郡山田町船越第7地割50番地1 交 JR宮古駅・金石駅から共に車で30分/三陸鉄
道リアス線岩手船越駅から徒歩10分/岩手県交通
バス「道の駅やまだ」から徒歩8分 料 一般300円/
高・大200円/小・中150円 営 9:00~17:00(最終
入館16:30) 休 火曜(祝日の場合翌平日) 駐 150台
(船越公園駐車場を利用) 問 0193-84-3985



浜暮らしを知る 民話ライブ。

各日 14:00～15:00

6月8日(土).22日(土)

7月6日(土).20日(土).8月3日(土)

釜石市郷土資料館【釜石市】

企画展「おらほの話っ聞いてください」

「むがーす、あったずもな」。この言葉を聞けば、みんな昔の釜石へ。「漁火の会」の皆さんが、地域に語り継がれる民話を私たちに聞かせてくれます。その時のお客さんの反応を見て、話し方や調子を変化させながら語る口演の様子は、まさに「ライブ」を観ているかのよう！ 語りを楽しみながら、昔の浜暮らしの様子を感じてください。



住 岩手県釜石市鈴子町15-2 交 JR・三陸鉄道リアス線釜石駅から徒歩5分 料 無料 営 9:30～16:30(最終入館16:00) 休 火曜 駐 11台 問 0193-22-2046



漁火の会とは？



漁火の会は、平成20(2008)年に、遠野市出身で遠野物語の語り部である菊池力松の五女、須知ナヨ(初代会長)と、現事務局長の北村弘子により発足しました。現在、会には10名の語り部仲間が在籍し、市内を中心に、「おらほ弁」による民話伝承活動などを行っています。

※「おらほ弁」…語り手自身の言葉を用いた語り方。「おらほ」は、「私(私たち)」を意味する方言。

これからの 海との暮らしを 考える。

6月15日(土)▶8月18日(日)

大船渡市立博物館【大船渡市】

陸前高田市立博物館との協働展示

企画展「気仙と津波～大船渡・陸前高田～」

「震度が小さければ、津波は起きない?」。この質問に答えられる人は、意外と少ないそう。答えは「NO」。いつ来るか分からない津波。その備えとして過去の津波について学んでみませんか? これまでに三陸を襲った4つの津波を比較します。大船渡市の東日本大震災の津波映像も公開中!

荒れ狂う海

～津波常習地・大船渡～



住 岩手県大船渡市末崎町字大浜221-86
交 JR大船渡線釜石海岸口駅から徒歩5分
／岩手県交通バス「釜石海岸」から徒歩1分
料 一般300円／高校生以下無料 営 9:00～16:30(最終入館16:00) 休 月曜(祝日の場合翌平日) 駐 普通車20台、大型バス2台
問 0192-29-2161

三陸防災復興プロジェクト2019

三陸ジオパーク ワクワクフェスタ

国立科学博物館・岩手県立博物館・コラボミュージアム

生命のれきし

ー君につながるものがたりー

地球が誕生してから46億年。今の地球にたどりつくまでの間に、地球や生き物たちは大きく変化してきました。今の私たちが「私たち」になるまでの時間は、完全ノンフィクションの超大作。この夏は、国立科学博物館と岩手県立博物館がコラボレーションし、その物語を見せてくれます。約38億年前の地球最古の岩石、大型生物エディアカラ生物の化石、陸上に進出した植物化石や、恐竜の全身骨格、そして私たち哺乳類の化石などの標本・資料が岩手に集まり、地球の歴史・生命の歴史をたどる46億年の物語へ、あなたをご招待!



6月2日(日)▶16日(日)

小本津波防災センター【岩泉町】

6月22日(土)▶7月15日(月・祝)

大船渡市立博物館【大船渡市】

小本津波防災センター 住 岩手県下閉伊郡岩泉町小本字南中野241 交 三陸鉄道リアス線岩泉小本駅 料 無料 営 9:00～16:30 休 なし 駐 105台 問 019-661-2831(岩手県立博物館担当まで)

※大船渡市立博物館の施設情報は同ページ「気仙と津波～大船渡・陸前高田～」をご確認ください

